

令和8年4月版

みらい*てびき

将来のことが
わからない……



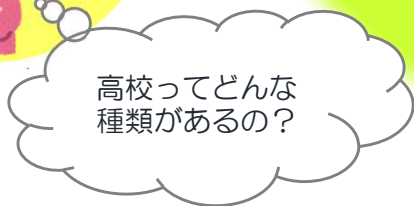
進学ってどれくらい
お金かかるの？



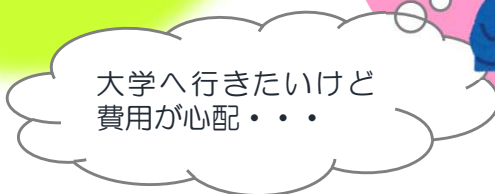
将来のことで
悩んでいませんか？
この「みらい*てびき」で
一緒に考えていきましょう。



高校ってどんな
種類があるの？



大学へ行きたいけど
費用が心配……



- 1 みらいのことを考えよう！ P 1
 - 🌸 ★ ◇これからの進路について
 - 🌸 ★ ◇生涯賃金について
 - 🌸 ★ ◇自立に向けて一人暮らしの生活を考えよう
- 2 高校の選び方 P 3
 - 🌸 ★ ◇種類
 - 🌸 ★ ◇課程
 - 🌸 ★ ◇学年制・単位制について
 - 🌸 ★ ◇通えるか、授業についていけるか不安な方は
 - 🌸 ★ ◇通信制高校に通う生徒をサポート（サポート校）
- 3 高校の学費について P 5
 - ★ ◇高等学校就学費
 - ★ ◇高校進学が決まったら
 - 🌸 ★ ◇高校の費用と貸付
- 4 ★ 高校生のアルバイト収入について P 7
- 5 高校卒業後の進学について P 8
 - ★ ◇大学進学等について、生活保護の考え方
 - 🌸 ★ ◇進学先を決める
 - 🌸 ★ ◇入試の種類
 - ★ ◇進学に必要なお金
 - ★ ◇世帯分離とは？
- 6 ★ 進学が決まったら P 10
- 7 ★ 進学準備給付金 P 10
- 8 塾代の支給について P 11
 - ★ ◇学習環境整備費（学習塾費用）
- 9 🌸 ★ 府中市学習・生活支援事業 P 11
- 10 🌸 ★ 地域の無料または低額の学習教室 P 12
- 11 🌸 ★ 市内の自習スペース P 14
- 12 🌸 ★ 困ったとき、悩んだときは相談しよう P 15
- 13 🌸 ★ 働きたいと考えているみなさんへ P 16
- 14 🌸 ★ 奨学金について P 18
 - ◇新聞奨学生
 - ◇各奨学金・貸付金・助成金



早わかりチャート



将来をどうするか、
まだ決まっていな
い

➡ P. 1～

★ 中学生のキミに！



高校進学したい

➡ P. 3～



就職したい

➡ P.16～

★ 高校生のキミに！

進学や自立にはお金が必要になる
から、「高校生のアルバイト」
(7ページ) も見ておこう！



大学進学したい

➡ P. 8～



就職したい

➡ P.16～

★ 学力のサポート 相談先が欲しい！

➡ P.11～



1 미래のことを考えよう！

★ これからの進路について

府中市生活福祉課では、子どもたちの将来の自立のために、高校進学をサポートしています。進学することが全てではないですが、学歴がないとできない仕事もたくさんあります。やりたい仕事が決まっていなかったら、進学して選択肢を広げることも1つの方法です。

将来についてじっくり考えてみましょう。

中学卒業後の進路

高校進学費用

公立

約59万円/年

(入学金、授業料、PTA会費、修学旅行、遠足、見学、学用品、交通費、学習塾代など)

※(参考) 文部科学省令和5年度「こどもの学習費」

私立

約104万円/年

(入学金、授業料、PTA会費、修学旅行、遠足、見学、学用品、交通費、学習塾代など)

※(参考) 文部科学省令和5年度「こどもの学習費」

就職

新規中卒者の求人件数

全国	就職希望者数	751人
	求人数	618人

※ハローワーク調べ(令和6年度)

就職先

とび職・美容師見習い・板前など

高校卒業後の進路

大学進学費用

私立

約147万円/初年度

(入学金、授業料、設備費、交通費、各種会費、受験料など)

※(参考) 文部科学省令和5年度私立大学等初年度納付金平均

短大

約127万円/初年度

(入学金、授業料、設備費、交通費、各種会費、受験料など)

※(参考) 文部科学省令和5年度私立大学等初年度納付金平均

就職

新規高卒者の求人件数

東京都内	就職希望者数	4,270人
	求人数	54,876人

※ハローワーク調べ(令和6年度)

就職先

公務員(自治体により)・アパレル販売システムエンジニアなど



中学卒業向き求人は少ないんだね。
やりたい仕事が見つかった時に高卒資格が必要になることもあるよ。

★ 生涯賃金について

正社員として定年まで働いたときの賃金例です。学歴が上がるほど生涯賃金も上がることがわかりますね！



学歴別生涯賃金 新卒で入社して正社員として定年まで勤めた場合	
中卒 (45年間)	2億4700万円 (女性：1億7770万円)
高卒 (42年間)	2億6020万円 (女性：1億8910万円)
専門学校 (40年間)	2億5790万円 (女性：2億1870万円)
短大卒 (40年間)	2億9500万円 (女性：2億1840万円)
大卒 (38年間)	3億2020万円 (女性：2億5370万円)

※(参考) 労働政策研究・研修機構「ユースフル労働統計2023」より抜粋

右の表は、最終学歴卒業後就職して1年の間に、正社員として働いている割合を示したものです。

中卒の学歴の人の場合は、正社員として就職できる人が10人に1人程度です。

正社員として勤務するためには、高卒以上で就職するほうが、可能性が高くなります。

卒業後正社員として働いている割合	
中卒	11.5%
高卒	64.8%
専門学校	78.9%
短大卒	79.4%
大卒	86.7%

※(参考) 厚生労働省「令和5年若年者雇用実態調査の概況」

★ 自立に向けて一人暮らしの生活を考えよう

働きながら一人暮らしをすることは自立への第一歩です。自立のためにはどのくらいの費用が必要なのか、考えてみよう。(金額は参考例です。)

【1ヶ月の生活にかかるお金】

家賃	50,000円
食費等	40,000円
光熱費	10,000円
税・社会保険料	30,000円
通信費(スマホ等)	8,000円
交通費等	11,000円
交際費等	15,000円
雑費	5,000円
貯金	10,000円
合計	179,000円

【一人暮らしに必要な初期費用(一例)】

敷金	50,000円
礼金	50,000円
仲介手数料	25,000円
前家賃	50,000円
保証料	25,000円
火災保険料	15,000円
引越し代	時期・業者による
家電製品・家具	130,000円~
合計	345,000円~ +引越し代

一人暮らしを始めた時期から逆算して計画を立てよう。
担当CWへの相談も
お忘れなく！





2 高校の選び方

たくさんの種類がありますが、自分にあった高校を選ぶことが大切です。小学校や中学校でつまずいても、キミをしっかりサポートしてくれる学校がきっとあるはず。迷ったら進路指導の先生や、身近な大人、子ども支援員に相談してみましよう。ここでは、都立高校の種類を紹介します。

★ 種類

都立高校	全日制	学年制	普通	・普通科（エンカレッジスクールを含む。）
			普通 コース制	・外国語科 ・外国文化科 ・造形美術科 ・ことばと情報科
			専門	・農業科 ・工業科 ・科学技術 ・ビジネス ・ビジネスコミュニケーション ・家庭科 ・福祉科 ・体育科 ・理数科 ・国際関係 ・併合科 ・産業科 など
		単位制	普通	・普通科
			専門	・工業科 ・家庭科 ・芸術科 ・総合学科 ・デュアルシステム科 など
			普通	・普通科
	定時制	夜間 学年制	普通	・普通科
			専門	・農業科 ・工業科 ・商業科 ・併合科 ・産業科など
		昼夜間 単位制	普通	・普通科
			専門	・情報科 ・総合学科（チャレンジスクール）
		夜間 単位制	普通	・普通科
			専門	・工業科 ・総合科
通信制	・普通科			

十

民間教育施設 サポート校（通信制高校在籍の生徒をサポート）

※サポート校は、4ページで詳しく説明するよ。

★ 課程

<全日制課程>

- ・朝から午後まで、1日5～8時間程度の授業があります。
- ・就学年限（卒業までの期間）は3年間です。

<定時制課程>

- ・夜間。高校によっては、午前部・午後部などの課程（昼夜間単位制高校）があります。
- ・1日に4時間程度の授業を行うことが多く、4年間で卒業することを基本としていますが、高校が指定する授業・講座で単位を取得すれば3年間で卒業することも可能です。

<通信制課程>

- ・自宅等で学習し、レポートなどの添削指導を受けながら、定められた日（月2日程度）に登校し、面接指導を受けます。就業年限は3年以上です。

★ 学年制・単位制について

<学年制>

- 学習する教科や科目が学年ごとに決まっています。
- 1年ごとに必要になる単位が定められており、全ての単位を修得すると、次の学年に進級できます。

<単位制>

- 学年の区別がなく、3年間（4年間）の中で卒業要件に記されている必要単位数を取得することによって卒業できます。
- 必修科目が定められているケースもありますが、すべての単位が必修というわけではありません。そのため自分が興味を持った科目を選ぶことができ、苦手な科目を避けられるというメリットがあります。

★ 通えるか、授業についていけるか不安な方は

不登校の経験や、中学までの授業でつまずいてしまった経験があって、高校生活に不安を感じている方には、次のような学校（学科）もあります。

<エンカレッジスクール>

概要：エンカレッジとは「励ます」「力づける」を意味します。小学校や中学校の学習につまずいてしまった生徒の、高校でのやりなおしを支援する全日制の高校です。

特徴：入試は、学力検査を行わず、小論文や面接を行います。担任は2人で、きめ細やかな指導が受けられます。1年次は集中できる30分授業により、基礎や基本を学べます。

<チャレンジスクール>

概要：小学校や中学校で学校になじめず、不登校の経験があったり、高校で長期欠席等が原因で中途退学するなど、これまで能力や適性を十分に生かしきれなかった生徒が、自分の目標を見つけ、これに向けてチャレンジする昼夜間の定時制高校です。

特徴：入試は、学力検査を行わず、小論文や面接を行います。少人数のきめ細かい指導を通して、基礎的・基本的な学力の定着を図り、中学校の復習にも対応します。

★ 通信制高校に通う生徒をサポート（サポート校）

サポート校とは、通信制高校に通う生徒や、高校に行かず高等学校卒業程度認定試験合格を目指す個人に対して支援を行う民間の教育施設（学習塾）です。通信制高校の生徒は、自主学習となるので、途中で挫折してしまうケースや卒業までに長い期間がかかってしまうケースがあります。そういった生徒を学習面、生活面、精神面でサポートをしてくれます。サポート校は高校ではないので、高校卒業資格を取るためには、通信制高校に同時入学が必要になります。

サポート校の就学費用は？

- 民間の教育施設なので、学校により費用は異なりますが、就学費用の貸付が可能な場合もあります。詳しくは6ページをご確認のうえ、担当CWか、子ども支援員にご相談ください。



キミたちの進学を支援するために、通塾費用や模擬試験などの費用を支給する制度があるよ！（生保世帯向け）
詳しくは11ページ「8 塾代の支給について」を見てみよう！

3 高校の学費について


★ 高等学校就学費

支給の対象となる学校

- ◆全日制・定時制・通信制の高等学校
- ◆高等専門学校（4年、5年もOK）、特別支援学校の高等部
- ◆その他の学校（卒業まで3年以上などルールあり）


<入学前>


申請が必要です

 一時扶助として支給できるもの

受験料	入学準備金	入学料	教材費
1校につき 30,000円以内	実費118,200円 以内	都立は減免されます。 受給証明書が必要	実費支給
原則として、2回まで支給 ができます。	学生服、通学用かばん、 靴など、入学時に用意す る必要があるもの	私立は、都立全日と同額 の5,650円が上限で す。（※都外の高校は金額 が異なります。）	教科書、副読本的図書、 ワークブック、和洋辞書 楽器が対象。全生徒必須 のもの。

<入学後>

 一時扶助として支給できるもの

 毎月の生活保護費に上乗せするもの

※ 学習支援費	教材費	基本額	学級費
原則101,000円 以内	実費支給	7,300円	2,170円
クラブ活動に必要な物品、 交通費・部費・大会活動 費用・ボランティア活動 参加費等 ※足りない場合はCWに ご相談ください。	教科書、副読本的図書、 ワークブック、和洋辞書、 楽器（リコーダー等）が 対象。全生徒必須のもの。	鉛筆、ノートなどの学用 品や、通学用品費として 支給	生徒会、PTA会費など、 保護者が学校に納付する ものを支給

Q 学用品購入等で一時的に経費が必要なときは？

A 基本額については、数か月分まとめての一括支給が可能。

Q 通学交通費の定期購入期間は？

A 原則6か月定期代を支給可能。自転車については条件あり。

Q 制服が着れなくなった、通学用かばんが使えなくなった場合は？

A 担当のCWにご相談ください。状況に応じて支給可能な場合があります。

★ 高校進学が決まったら...



就学計画書に通学先や、就学に必要な費用等を記入し、担当CWに提出してください。就学中も、次のような変更があった場合は報告をしてください。

- ① 停学・退学・留年・休学・転校など
- ② 定期代、通学経路・方法、通学先の変更など
- ③ 親族からの恵与金、各種奨学金・貸付金、当該生徒のアルバイト収入など

★ 高校の費用と貸付

都立高校の場合

生活保護費や国の就学支援金等により就学費用はほぼ賄えるため、貸付が必要でない場合が多いです。

年間費用 約 52 万円 入学金、授業料、PTA会費、修学旅行、遠足、見学、学用品、交通費、学習塾費など	【国】高等学校等就学支援金 【都】奨学給付金 【国】奨学のための給付金 約 20 万円
	生活保護費 (高等学校等就学費) 約 22 万円

私立高校の場合

私立高校は、右表のとおり就学費用が多額のため、貸付の利用が必要です。国・都の支援金・助成金もありますが、支給時期は(12月頃)学費等の納入期限に間に合いません。

また、入学時に支払う費用は50~80万円程度かかり、自分で用意することが難しいため、早い時期から貸付の相談をする必要があります。

貸付の代表的なものは社会福祉協議会の生活福祉資金があります。ひとり親の方は、母子及び父子福祉資金(「母子貸付」)が優先されます。

なお、国・都の支援金・助成金の支給は、学校に振り込まれる場合と個人に振り込まれる場合があります。学校ごとに異なります。費用については、事前によく学校に確認をしておきましょう。

<モデルケース>

立替等により発生した余りは、次年度の費用に充ててください	【国】高等学校等就学支援金 【都】授業料軽減助成金 【都】奨学給付金 約 53.6 万円
	生活保護費 (高等学校等就学費) 約 22 万円
年間費用 約 103 万円 入学金、授業料、PTA会費、修学旅行、遠足、見学、学用品、交通費、学習塾費など	【貸付】母子貸付又は生活福祉資金 54~63 万円

12月頃に支給

「貸付について」

貸付はあくまで借金です。**返済計画を立てた上で、必要最小限の額を借り入れましょう。**
 また、母子貸付は保証人が必要ですのでご注意ください。

申請・問合せ先

- 母子貸付 TEL 042-335-4204 (府中市子ども家庭部子育て応援課)
- 生活福祉資金 TEL 042-360-9996 (府中市社会福祉協議会)

※申請する時には、まず担当CWにご相談ください。

重要

進学を目指している人は、都立高校が第一志望でも、念のため私立高校の併願を検討しましょう。第一志望が都立高校でも、第二志望に私立高校を受験する場合は、私立高校の進学費用に備えて、貸付などの申請が必要です。

貸付は、申請から振込みまでに時間がかかるため、早めに相談をはじめましょう。(母子貸付・生活福祉資金ともに都立高校に合格すればキャンセルできます。)

また、私立高校を併願受験する場合は、都立高校の一次募集に不合格となった時点で、私立高校への入学手続きが必要となります。三者面談で先生とよく相談のうえ、受験校を決めてください。

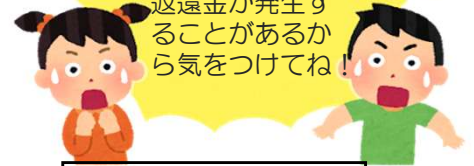


4 高校生のアルバイト収入について



★収入申告を忘れずに！

- ◆アルバイトを始めたら、家族とCWに報告してください。
- ◆給料がわかる書類（明細書・通帳等）を毎月CWへ提出してください。



申告を忘れると、返還金が発生することがあるから気をつけてね！

★収入認定から除外するもの

- ◆私立高校の授業料不足分、修学旅行費、学習塾費用等、クラブ活動費（学習支援費で不足する部分）は認定から除外されます。
- ◆20歳未満の方が働いた場合、20歳未満控除（1か月あたり11,600円）と基礎控除が受けられ、その分も除外されます。

収入認定から除外されたお金は手元に残るから、将来のために貯められるね！



- 📌 “卒業後の就労や早期自立に必要な経費” に充てられる費用は、申告すれば収入認定から除外されます。

コラム

“卒業後の就労や早期自立に必要な経費”とは？



何のお金のことかな？どこまで認められるの？



自立のために必要なお金のことよ。

その中には、就労を始めるときに必要なお金や、働き始めたあとに一人暮らしするためのお金も想定されています。また、専門学校や大学に進学をすると、資格を得て職業選択の幅が広がることから、就学のために必要なお金も、収入認定しないことができます。



将来のために必要となる物をはっきりとさせて、計画を立てて貯金する必要があるんだね。



必要な経費として認められるものは、限定されているのよ。高校卒業後の進路によって違うから、注意が必要よ！

それぞれ、どんな目的であればお金を貯められるのか、一例を見てみよう！！



高校卒業後の就労や早期自立のための経費(例)

進 学

大学や専門学校等に就学するための費用

入学金、入試の前期受験料など

就 職

運転免許取得費用等、就労に役立つ技能を習得する経費

免許取得が雇用条件となっていない場合でも検討可能です。

・直ちに転居が必要な場合の転居費用
・国、地方公共団体による貸付償還金

・移送費、敷金など
・私立高校入学金、授業料等の貸付金

5

高校卒業後の進学について

★ 大学進学等について、生活保護の考え方

高校を卒業したら、健康であれば、原則として働いて収入を得なくてはなりません。ただし、将来の自立のために大学進学は大変有用です。生活保護世帯でも、世帯分離をすれば大学進学は可能です。（世帯分離については、9ページで紹介しています。）

ここでは、大学や専門学校などに進学する場合に、知っておいてほしい情報を紹介します。



やりたいことや、将来つきたい仕事に合わせて進路を選ぼう。
高校卒業後に就職を目指しているキミは16ページを見よう。

★ 進学先を決める

大 学 教養のほか、専門分野の知識を広く学習・研究します。基本的に4年制です。最近では、即戦力になる人材を育てるための、専門職大学も設置されました。

短期大学 教養のほか、実践的な内容を学びます。専門的職業養成のための学校もあります。2年制または3年制です。

専門学校 特定の職業に必要な知識や技術、資格を取得します。2年制が多いですが、1年制から4年制まで様々です。

★ 入試の種類

AO入試 高校からの推薦は不要で、大学の選考基準を満たしていれば受けることができます。選考方法は様々で、高校の成績や小論文、面接などで、学校が求める人物像に合うか判断されます。時期は8月～2月（短期大学、専門学校は6月～）頃です。

推薦入試 高校での成績や部活動などの取組みに基づき、意欲や個性をはかる入試です。学校からの推薦が主ですが、自分で自分を推薦する自己推薦という種類の入試もあります。

時期は、11月～12月（短期大学は11月～12月、専門学校は10月～）頃です。

一般入試 各大学が実施する学力試験で合否が決まります。時期は、1月上旬～3月（短期大学は1月～3月、専門学校は10月～）頃です。

入試の時期や必要なお金等は、学校によって異なるので、入学案内を早めにチェックしよう！また、学校ごとに雰囲気や立地も違うので、オープンキャンパスや学園祭などに行ってイメージを掴んでおこう！



★ 大学等進学に必要なお金

受験費用 受験料（私立大学は1校3万円超）、願書代、交通費がかかります。

大学等進学支援費（受験料）

進学に必要な受験料は、生活保護費から扶助可能です。

◆対象：大学（短期大学・専門学校を含む）の進学のための受験料。
ただし、進学が世帯の自立助長に効果があると市長がみとめるもの

◆1人あたりの支給上限額： 120,000円



学 費 ①入学費用 入学金、授業料、施設管理費等合格後すぐに納める必要があります。
AOや推薦入試は時期が早いので、注意が必要です。

例) 国公立大学：約80万円、私立大学：約140万円、専門学校：約60万

②在学費用 授業料、施設管理費、教材費、実習費等卒業までにかかる費用
(学部による。)

例) 国公立大学：約430万円、私立大学：約600万円（4年間）
専門学校：約230万（2年間）

★ 世帯分離とは？

奨学金等を受けて進学する子どもを生活保護世帯の世帯員から外すことです。家族と同居しながら進学はできますが、アルバイトをして自分の生活費や学校の教材費などをまかなう必要があります。

次の貸与金を受けることが要件となるため、貸付決定通知の写しなどを提出してください。

※世帯分離が適用された場合、通常世帯人数の減少に伴い家賃の支給上限額が下がることとなりますが、大学等への進学に伴う世帯分離では要件を満たせば上限額は下がりません。

※昼間働きながら夜間大学に通う場合は、保護を受けることができます。収入は認定されません。



■要件となる奨学金等の種類

①独立行政法人日本学生支援機構法による給付型奨学金、貸与金

②国の補助を受けて行われる就学資金貸与事業による貸与金

であって、①に準ずるもの

③地方公共団体が実施する就学資金貸与事業による貸与金で

あって、①に準ずるもの

各種奨学金、助成金の申請手続きは、高校3年生の春頃から始まります。給付金と貸付金を併せて準備することが多いです。

申請から決定まで、数カ月間かかりますので、早めに準備・相談をするようにしましょう。

奨学金については18ページを見てね！





進学が決まったら・・・

世帯分離になると、自分の生活費や学費、将来の自立に必要なお金は自分で働いて稼ぐ必要があります。また、医療費も自分で負担するので、健康保険の加入手続きが必要です。進学が決まった方にはCWが手続きの案内をしますので、相談してください。

◆国民健康保険への加入手続きについて
世帯分離をして14日以内に、届け出をする必要があります。

- ・手続き場所：府中市役所2階 保険年金課
- ・持ち物：印鑑、生活保護変更通知書、個人番号（マイナンバー）カードまたは通知カード※



※なお、通知カードの場合は、運転免許証やパスポートなどの本人確認書類が必要になります。



進学・就職準備給付金

子どもたちの将来の自立を応援するため、高等学校を卒業し、大学等の進学や、就職が決定した際に支給可能な給付金があります。

- 対象者
- ①翌年度から大学や専門学校等に進学する高等学校等在学生
 - ②翌年度から就職する方
 - ③高等学校等を既に卒業しているが、災害や障害等により、やむを得ず直ちに進学できず、1年以内に大学や専門学校等に進学する方

給付金額

進学・就職に伴い転居をする場合・・・	30万円
上記以外	・・・10万円

- ※1 進学・就職準備給付金の対象となるかどうかは、担当CWにご相談ください。
- ※2 進学や就職する本人が申請する必要があります。

進学準備給付金は平成30年6月に創設された給付金です。令和6年度より就職した方にも就職準備給付金が追加されました。この給付金は返済の必要はありません。進学や就職準備のために、自由に使っていただけます。





8 塾代の支給について

生活保護世帯の子どもたちの進学を支援するために、学習環境整備費を支給します。支給対象や申請方法など、詳細は担当CWにお問合せください。

学習環境整備費（学習塾費用）

対象：学習塾などへの通塾費用や夏季・冬季・集中講座、通信講座などの費用。
模擬試験などの費用
※家庭教師やピアノ・そろばん・英会話スクール等の習い事は対象外です。

1人あたりの支給上限額（年度）：

小学4年生～中学2年生 100,000円

中学3年生、高校3年生 300,000円

中学既卒者、高校1・2年生 150,000円

※4年制高校（定時制・通信制等）の場合、

1～3年生が150,000円、4年生が300,000円。



9 府中市子ども学習・生活支援事業

府中市では、市内の中学生向けに無料の学習教室を開いています。



学習教室では、

- 学校の授業や宿題をサポート
 - 定期テスト対策
 - 高校進学への支援
- などを行っています。

勉強だけではなく、
楽しいイベントも企画中♪



場所：市内5か所の会場（市民活動センタープラッツ・新町文化センター・特別養護老人ホーム信愛泉苑・いきいきプラザ・是政文化センター）

対象：市内中学生（就学援助または生活保護を受けている方）

時間：午後6時から午後8時半まで

学び方：生徒2～3人に対し、大学生や社会人の講師が1人つきます。

お問い合わせは、担当CWまたは、子ども支援員まで。



学力に不安がある人は、府中市学習・生活支援事業や塾をうまく利用しよう！
12ページには、地域の無料、低額の学習教室を掲載しているから、参考にしてね！



地域の無料または低額の学習教室



※利用希望の際は、最新情報をご確認ください。

無 料 しらとり学習サポートサロン

対象者 中学生（高校生は要相談） 利用の開始には、保護者の方同伴の上、しらとりの担当者と面談があります。

その他 定員があります。
利用をお考えの場合には、直接学習サロンにご連絡いただくか、担当ケースワーカーにご相談ください。担当ケースワーカーから、しらとりへ連絡をします。

問合せ しらとり学習サロン TEL 042-367-8881

低 額 シルバー人材センター 学習教室

対象者 小学4年生、小学5年生、6年生、中学1年生、2年生、3年生

その他 元学校の教員など、豊かな経験と知識を持ったシルバー人材センターのスタッフが授業を行っています。
学習内容や日時は、シルバー人材センターに直接お問い合わせください。

問合せ シルバー人材センター TEL 042-366-2322



府中市多文化共生センターDIVE

無 料

外国につながる児童・生徒の 学習支援・居場所事業

対象者 府中市に住んでいる、日本語を勉強したい外国につながる
小学生・中学生

その他 東京外国語大学の学生ボランティアや市内NPO法人が、放課後の時間
帯に日本語学習を手伝います。

参加希望者が多い場合は、参加できるまで、待つことがあります。

詳しいことは、府中市多文化共生センターDIVEにお問い合わせください。

問合せ 府中市多文化共生センターDIVE TEL 042-319-0008

無 料

あおば学習室

対象者 小・中学生

問合せ あおばケアサービス TEL 042-336-1616



東京都「学びセーフティネット支援事業」

みんなのスペース たちかわALKあるく（立川市）

利用時間	月・火・木・金曜日 午前10時から午後5時（変更の可能性有り）
利用対象	公立の通信制・定時制に通う高校生 高校を中退後、再入学を考えている方
利用料	無料
内 容	学習支援：通信制高校のレポート作成を行うことができます。 高校への進学・復学のための受験勉強や事前学習 バイト応援：初めてのアルバイトの職探し・履歴書作成・面接練習等 で応援します。
場 所	立川市曙町2-18-6 芳賀（はが）第2ビル 3F （立川駅から徒歩約5分）
問合せ	NPO法人 育て上げネット TEL 042-595-6950

市内の自習スペース

学習室 中央図書館5階（ルミエール府中内）

- ・利用時間 午前9時から午後10時
1回あたりの利用時間は4時間以内（休館日等をご確認ください。）
- ・利用要件 府中市に居住、通勤、通学をしている方。
- ・利用方法 受付で次のいずれかを提示してください。
 - ①図書館利用カード
※利用カードの作成には、学生証など、氏名と現住所が確認できる身分証明書（生活保護受給証明書も可）が必要です。
 - ②利用要件の確認できる身分証明書
 詳しくは、中央図書館へお問い合わせください。

<中央図書館> TEL 042-362-8647

ヤングアダルト

YALーム 中央図書館4階（ルミエール府中内）

- ・利用時間 午前9時から午後10時（休館日などをご確認ください。）

中学生、高校生向けに開放しているYALームは、グループ学習や情報交換、コミュニケーションの場として活用できます。

<中央図書館> TEL 042-362-8647



自習室 生涯学習センター内

- ・利用時間 午前9時から午後9時50分 休館日などをご確認ください。

※午後6時以降の小中学生の利用には、保護者の同伴が必要です。
※日によっては、研修室を臨時の学習室として開放している日もあるようです。
詳しくは生涯学習センターへお問い合わせください。

<生涯学習センター> TEL 042-336-5700

市民活動センタープラッツ6F

青少年・コワーキングスペース

- ・利用時間 午前8時半から午後10時00分 休館日などをご確認ください。

中高生や大学生をはじめとする青少年が優先的に利用することができるスペースです。

※3時間を目安に議利用ください。

<市民活動センタープラッツ> TEL 042-319-9703



進路相談、教育相談などの相談窓口



「不登校について相談したい」
 「学校生活について相談したい」
 「都立高校へ再入学したい」



「学校を辞めてしまったのだけど…」
 「外国語で進路について相談したい」
 「通信制、単位制ってどんな学校？」

相談方法：電話、または東京都教育相談センターへ来所
 （来所相談の場合は、あらかじめ電話で予約をしてください。）

外国語による相談：中国語、英語、韓国・朝鮮語
 毎週金曜日 午後1時～午後5時まで（受付は午後4時まで）

<東京都教育相談センター>
 東京都新宿区北新宿4-6-1（東京都子供家庭総合センター4階）

- ◆高校進級・進学・（再）入学相談などについて
 TEL 03-3360-4175
- ◆教育相談一般
 TEL 03-3360-4175

都立高校入試についての相談窓口



「都立高校の入試について相談したい」
 「転学・転入について相談したい」

相談方法：電話、または都立高校入試相談コーナーへ来所

<都立高校入試相談コーナー>
 東京都新宿区西新宿2-8-1（東京都庁内）
 TEL 03-5320-6755



働きたいと考えているみなさんへ



手に職をつけ、アルバイト・非正規から正社員へ、安定した職業を目指しましょう！

在学中の方は、まず学校の先生に相談してみてね！



東京しごとセンター

仕事を探す若者を、あらゆる角度からバックアップします。

- ◆東京しごとセンター ヤングコーナー（最寄駅 JR飯田橋駅）
TEL 03-5211-2851
- ◆東京しごとセンター 多摩（最寄駅 JR国分寺駅）
TEL 042-329-4510

ハローワーク府中

職業紹介をしてもらえるところです。住んでいる地域だけでなく、全国の求人を見ることができます。

- ◆若者相談コーナー
就職活動の仕方や書類の書き方など、個別に相談を受けることができます。

TEL 042-336-8629

東京都立職業能力開発センター

働くために必要な知識や技能を習得するための施設です。申込みはハローワークへ。

- ◆府中校（最寄駅 京王線中河原駅）
TEL 042-367-8201
- ◆多摩職業能力開発センター（最寄駅 JR西立川駅）
TEL 042-500-8700

地域若者サポートステーション

働くことに不安を感じている、自信がない方の相談窓口です。

- ◆ちょうふ（最寄駅 京王線国領駅） ※予約制
TEL 042-444-7975
- ◆たちかわ（最寄駅 JR立川駅北口） ※予約制
TEL 042-529-3378



高校卒業後、就職した場合はどうなる？



収入から基礎控除、未成年者控除、必要経費を控除した残りが収入として認定されます。継続性のある職業に従事したときは、新規就労控除（6か月間）が適用される場合があります。

就職して、1年以内に自立し、家を出ると認められるときは世帯分離することができます。世帯分離中に、独立するための費用を貯めていただきます。

世帯分離を希望する場合は、CWに相談してください。





奨学金について

新聞奨学生

新聞社が主催する奨学金制度です。学生は朝刊や夕刊の配達を通して奨学金が利用できます。月々の給料のほか、寮や食事の提供がある場合もあるようです。卒業まで仕事を続けていれば、学費の返還義務はありません。

奨学金の額や給料、休日などは新聞社により異なります。
詳しくは新聞社へ直接お問合せください。

- ◆新聞奨学金制度を行っている新聞社
日経新聞・毎日新聞・読売新聞・朝日新聞・産経新聞・東京新聞など

各奨学金・貸付金・助成金

つぎのページをご覧ください。



～みらいあるキミたちへ～

将来のことで悩んだら、身近な大人や担当CW、
子ども支援員に相談してみよう。
私たちは、キミたちの明るいみらいを応援します！



奨学金・貸付金・助成金一覧【高校進学対象】

●【都立高校】対象(該当校かの確認必要)

制度名	金額	他制度との併用	連帯保証人	申し込み時期	申込み相談先
充当 就学支援金(実質授業料無償)	授業料:11万8800円/年 (全日制の場合)			高校進学後	入学する学校
貸付 母子・父子福祉資金	授業料:2万7000円以内/月 入学支援金:16万円以内	○ (貸付額が考慮される)	原則必要(1人)	納期の2か月前 (事前面談が必要)	府中市役所3階 子育て応援課 042-335-4204/4240
貸付 教育支援資金 (生活福祉資金貸付制度)	授業料5万2500円以内/月 入学支援金:50万円以内	○	原則不要 (世帯の生計中心者)	納期の2か月前 (事前面談が必要)	府中市 社会福祉協議会 まちづくり推進係 042-360-9996
貸付 東京都育英資金	授業料:1万8000円/月	○ (一部)	必要(2人)	中3 5月~9月 または、高校進学後	在学する学校または (公財)東京都私学財団 03-5206-7929
貸付 府中市貸付奨学資金	授業料:1万1000円/月	○	必要(1人)	中3時と高校在学中の 3月中旬(毎年応募)	府中市教育委員会教育部 教育総務課学校庶務係 042-335-4428
給付 奨学給付金	入学支援金:学校による	○	不要	中3時と高校在学中の 3月中旬(毎年応募)	入学する学校
給付 府中市給付奨学資金	授業料:7,500円~1万5000円/月 入学支援金:8,000円	○	不要	中3時と高校在学中の 3月中旬(毎年応募)	府中市教育委員会教育部 教育総務課学校庶務係 042-335-4428

●【私立高校】対象(該当校かの確認必要)

制度名	金額	他制度との併用	連帯保証人	申し込み時期	申込み相談先
充当 就学支援金(授業料補助)	授業料:48万4000円/年			高校進学後	入学する学校
貸付 母子・父子福祉資金	授業料:4万5000円以内/月 入学支援金:50万円以内	○ (貸付額が考慮される)	原則必要(1人)	納期の2か月前 (事前面談が必要)	府中市役所3階 子育て応援課 042-335-4204/4240
貸付 教育支援資金 (生活福祉資金貸付制度)	授業料:5万2500円以内/月 入学支援金:50万円以内	○	原則不要 連帯借受人必要	納期の2か月前 (事前面談が必要)	府中市 社会福祉協議会 まちづくり推進係 042-360-9996
貸付 東京都育英資金	授業料:3万5000円/月	○ (一部)	必要(2人)	中3 5月~9月 または、高校進学後	在学する学校または (公財)東京都私学財団 03-5206-7929
貸付 入学支援金貸付制度	入学支援金:20万円	○	必要(1人) ※在学中に返済必要	入学決定時に学校と調整	入学する学校または (公財)東京都私学財団 03-5206-7926
貸付 府中市貸付奨学資金	授業料:1万7000円/月	○ (府中市給付奨学資金 をのぞく)	必要(1人)	中3時と高校在学中の 3月中旬(毎年応募)	府中市教育委員会教育部 教育総務課学校庶務係 042-335-4428
給付 府中市給付奨学資金	授業料:7,500円~1万5000円/月 入学支援金:8,000円	○ (府中市給付奨学資金 をのぞく)	不要	中3時と高校在学中の 3月中旬(毎年応募)	府中市教育委員会教育部 教育総務課学校庶務係 042-335-4428
給付 授業料軽減助成金	授業料:9万円~13万5000円/年	○	不要	高校進学後	入学する学校
給付 奨学給付金	入学支援金:学校による	○	不要	高校進学後	入学する学校

●その他家庭状況に応じて利用できる制度例

制度名	金額	他制度との併用	連帯保証人	申し込み時期	申込み相談先
給付 あしなが奨学金 (保護者の後遺障害または死亡)	問い合わせください	問い合わせください	問い合わせください	問い合わせください	あしなが育英会 0120-77-8565 / 03-3221-0888
給付 交通遺児育英奨学金 (保護者の交通事故)	問い合わせください	問い合わせください	問い合わせください	問い合わせください	交通遺児育英会 0120-52-1286 / 03-3556-0773

奨学金・貸付金・助成金一覧【大学等進学対象】

●高専・短期・専修・大学・大学院など(該当校かの確認必要)

	制度名	金額	他制度との併用	連帯保証人	申し込み時期	申込・相談先
充当	授業料等減免	【国公立】 大学：入学金約28万円・授業料約54万円 短期大学：入学金約17万円・授業料約39万円 高等専門学校：入学金約8万円・授業料約23万円 専門学校：入学金約7万円・授業料約17万円 【私立】 大学：入学金約26万円・授業料約70万円 短期大学：入学金約25万円・授業料約62万円 高等専門学校：入学金約8万円・授業料約23万円 専門学校：入学金約16万円・授業料約59万円 ※年間上限額			大学等進学後	在学する学校の奨学金窓口等
貸付	独立行政法人日本学生支援機構 第一種奨学金 第二種奨学金 入学時特別増額貸与奨学金	問い合わせください	問い合わせください	問い合わせください	問い合わせください	在学する学校の奨学金窓口等
貸付	府中市貸付奨学資金	授業料：短期・専修・専門学校2万1000円/月 大学 3万円/月	○	必要(1人)	高3時と在学中の 3月中旬(毎年応募)	府中市教育委員会教育部 総務課学校庶務係 042-335-4428
貸付	母子・父子福祉資金	授業料：7万1000円以内/月(国立・自宅の場合) 入学支度金：大学、短期、高専(国公立)：42万円以内 入学支度金：大学、短期、高専(私立)：59万円以内	○ (賞付額が考慮される)	原則必要(1人)	納期の2か月前 (事前面談が必要)	府中市役所5階 子育て応援課 042-335-4204/4240
貸付	教育支援資金 (生活福祉資金貸付制度)	授業料：大学6万5000円以内/月 高専、短期大学、専修学校6万円以内/月 入学支度金：50万円以内	○	原則不要 連帯借受人が必要 ※他制度の利用が優先	納期の2か月前 (事前面談が必要)	府中市 社会福祉協議会 まちづくり推進係 042-360-9996
給付	独立行政法人日本学生支援機構 給付型奨学金	【国公立】 大学・短期大学・専門学校：(自宅)約39万円/年 (自宅外)約80万円/年 高等専門学校：(自宅)約30万円/年 (自宅外)約41万円/年 【私立】 大学・短期大学・専門学校：(自宅)約51万円/年 (自宅外)約91万円/年 高等専門学校：(自宅)約42万円/年 (自宅外)約52万円/年	○	不要	進学前(具体的な時期 は問い合せてください)	・在学する学校の奨学金窓口等 ・給付奨学金専用相談センター(相談のみ) 0570-200-021
その他	民間奨学金・各学校奨学金	各実施団体・学校に問い合わせください				

●その他の家庭状況に応じて利用できる制度例

	制度名	金額	他制度との併用	連帯保証人	申し込み時期	申込・相談先
給付	あしなが奨学金 (保護者の後遺障害または死亡)	問い合わせください	問い合わせください	問い合わせください	問い合わせください	あしなが育英会 0120-77-8665 / 03-3221-0888
給付	交通遺児育英奨学金 (保護者の交通事故)	問い合わせください	問い合わせください	問い合わせください	問い合わせください	交通遺児育英会 0120-52-1286 / 03-3556-0773